南知多町行政情報システム更新事業　審査基準

企画提案書審査採点表

審査項目	審査内容	評価の着眼点	提案書等で確認する主な根拠	配点
1．現行環境の理解・業務継続性	1-① 現行システムの構成・設定・運用の理解	本町のサーバ、ネットワーク、Active Directory、グループウェア、メール、資産管理、強靭化等の現行構成・設定・運用及び障害履歴をどの程度具体的・正確に把握しているか。確認済事項と未確認事項が区分され、その確認根拠が明確であるか。	現行構成認識図、現地調査結果、確認根拠、確認済・未確認事項、現行資料との整合、障害履歴・運用状況等	20
	1-② 現行環境の課題・変更点・影響の把握	現行環境の理解を踏まえ、現行踏襲する事項と変更する事項が整理され、変更理由、業務・運用への影響、リスク及び必要な対応が具体的に示されているか。単なる現状把握にとどまらず、本町に適した更新方針となっているか。	現行からの変更点・差分、変更理由、影響範囲、リスク、代替策・対応策、現行踏襲事項等	15
	1-③ 業務継続性・職員負担への配慮	行政サービスの安定継続を前提に、既存設定等を可能な限り継承し、職員による再設定・再登録・再入力・端末作業・教育・問い合わせ等を抑制する具体策が示されているか。定量化が可能な事項は、対象数や想定工数等が示されているか。	職員作業一覧、対象数・想定工数、支援方法、業務影響、代替運用、教育・問い合わせ対応、設定等の継承方針等	15
2．データ移行・切替	2-① 移行計画の具体性	AD、グループウェア、メール、資産管理、ネットワーク・セキュリティ設定等について、対象、件数・容量、方法、ツール、責任者、検証基準及び非移行時の代替策が具体的に整理されているか。	対象件数・容量、移行率、移行方法・ツール、移行元・先、検証基準、例外措置、責任者等	20
	2-② 試行移行・検証・リハーサル	試行移行、本番相当データによるリハーサル、件数・容量・ハッシュ値等による整合性確認など、移行の確実性を高める具体的な検証方法が示されているか。	試行移行計画、リハーサル計画、検証項目・判定基準、所要時間、要員、結果の反映方法等	15
	2-③ 切替・切戻し	業務停止を最小化する切替計画と、判断期限、判断者、対象、手順、所要時間、差分データ等を含む実効性のある切戻し方針が示されているか。	切替タイムチャート、停止時間、稼働判定基準、承認者、切戻し判断期限・手順・所要時間等	15
3．システム構成・技術提案	3-① 仮想化基盤・ストレージ・バックアップ	Hyper-Vフェールオーバークラスター、共有ストレージ、NAS、RAID、バックアップ等について、可用性・性能・復旧性を踏まえた具体的かつ妥当な構成が示されているか。	全体・物理・論理構成図、製品・構成根拠、冗長化方式、障害時動作、バックアップ・復旧方式等	10
	3-② ネットワーク・境界防御	L3スイッチ、フロア接続、無線認証、境界FW、UPS等について、冗長性、障害時の継続性及び現行環境との整合を踏まえた構成が示されているか。	ネットワーク構成図、冗長化・切替方式、認証方式、FW構成、現行設定の継承・変更点等	10
	3-③ 認証・グループウェア	Active Directory、Garoon、desknet's NEO等について、現行のデータ・設定・権限を可能な限り継承し、バージョン差異等を事前検証する具体的な方法が示されているか。	移行・継承対象、バージョン差異、非互換事項、事前検証方法、代替措置等	8
	3-④ メール・セキュリティ・資産管理	メール、無害化、ウイルス対策、更新管理、資産管理、プロキシ、RDS等について、要求事項を満たす具体的な実現方式が示されているか。	製品・機能構成、処理フロー、管理方式、ログ・監視、現行環境との変更点等	8
	3-⑤ インターネット閲覧・ファイル授受	LGWAN端末からの安全なインターネット閲覧、無害化、ファイル持込み・持出し、承認、履歴・ログ保存等について、安全性と利便性を両立する具体的な方式が示されているか。	閲覧・ファイル授受の処理フロー、承認方式、権限制御、ログ保存、障害時・例外時の運用等	8
	3-⑥ サイジング・保守性	容量、性能、バックアップ・復旧時間等のサイジング根拠が明確で、将来増加や障害時対応、メーカー保守を含め長期的に安定運用できる構成となっているか。	現行使用量、将来増加率、性能・容量算定、バックアップ・復旧時間、メーカー保守期間等	6

南知多町行政情報システム更新事業　審査基準

企画提案書審査採点表

審査項目	審査内容	評価の着眼点	提案書等で確認する主な根拠	配点
4．情報セキュリティ	4-① 技術的セキュリティ対策	脆弱性対策、不要サービス等の無効化、最小権限、アクセス制御、マルウェア対策、ログ、リモート保守等について、本町情報セキュリティポリシーを踏まえた具体策が示されているか。	セキュリティ設計、アクセス制御、脆弱性・マルウェア対策、ログ・監視、リモート保守方式等	10
	4-② 情報管理・インシデント対応	設定情報・アカウント・媒体・一時データ等の管理、持出し制御、終了時の返却・消去・廃棄、インシデント発生時の報告・対応等が具体的に示されているか。	情報管理方法、持出し手続、返却・消去・廃棄方法、インシデント連絡・初動・復旧手順等	10
	4-③ セキュリティ管理・再委託	従事者教育、守秘義務、作業者・作業場所の管理、対策履行状況の報告、監査・検査への協力、再委託先への同等義務の徹底等が適切に計画されているか。	セキュリティ管理体制、教育、従事者・作業場所、報告方法、監査対応、再委託管理方法等	5
5．実施体制・関係者調整	5-① 実施体制・技術体制	PM及び各技術分野の担当・責任分界が明確で、本事業を確実に遂行できる経験・技術力・要員体制が示されているか。	体制図、担当者の役割・資格・経験、同種業務実績、バックアップ体制、責任分界等	10
	5-② 現行保守事業者等との調整	現行保守事業者、メーカー、関係システム事業者、リース会社等との依頼事項、役割、責任分界、時期、リードタイム及び費用が具体的に整理されているか。	関係者別の依頼事項、責任分界、調整時期、必要情報、リードタイム、費用負担等	15
	5-③ 工程・品質・リスク管理	本稼働日に向けた工程が現実的で、進捗、品質、課題、リスク、変更事項及び意思決定を適切に管理する方法が示されているか。	全体工程表、会議・報告方法、品質管理、課題・リスク・変更管理、遅延時の回復策等	10
6．保守運用	6-① 保守・障害対応体制	一次窓口、受付体制、重大障害時の現地対応、メーカー等との連携を含め、安定運用を支える具体的な保守体制が示されているか。	保守体制図、一次切り分け、連絡体制、現地対応、メーカーエスカレーション、保守拠点等	15
	6-② 稼働後の安定性・職員負担の抑制	障害、変更、問題、構成、資産、ライセンス等の管理、初動支援及び定例作業の自動化等により、安定稼働と職員の運用負担抑制を実現できる提案となっているか。	稼働後支援計画、管理方法、自動化対象、職員作業、定例報告、改善提案等	10
7．追加提案	7-① 追加提案・創意工夫	本町の要求事項を満たした上で、業務継続性、職員負担の軽減、運用効率化、セキュリティ向上、将来拡張性又は費用縮減等に資する、実現性のある追加提案となっているか。	追加提案の内容、導入効果、実現方法、費用、既存要件への影響、運用負担、将来拡張性等	15
企画技術評価点　小計				**250**
価格評価点	**更新業務価格評価**	更新業務に係る参考見積額を評価する。更新業務費には、本システムの稼働後５年間の利用又は保守に必要となるメーカー保守、ソフトウェアライセンス、サブスクリプション等のうち、システム導入時に調達するものに係る費用を含む。	更新業務に係る参考見積額	40
	運用保守業務価格評価	5年間における問い合わせ対応、障害対応、技術支援、運用支援、その他人的役務に係る参考見積額を評価する。	5年間の運用保守業務に係る参考見積額	10
合計				**300**